

# プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員24名で実施中

## 1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」を投影しています。

### テーマ番組・オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」9月16日から投影中

ハッブル宇宙望遠鏡が打ち上げられて、2020年で30年となりました。宇宙望遠鏡の名前の「ハッブル」はアメリカの天文学者の名前で、アンドロメダ銀河が私たちの銀河系の外の天体であることを観測によりつきとめました。また「膨張宇宙」の元となる「ハッブル・ルメートルの法則」を発表したことで有名です。プラネタリウム番組でハッブル宇宙望遠鏡の30年の歴史を振り返ります。番組内の音楽は障がいがありながらも音楽活動をされている、鳥取県出身のサウンドクリエイター「Yuta Itani (井谷優太) <https://www.yutaitani.com/>」さんが、完全オリジナルで制作されました。

定員24名、要予約で実施中

## 2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を24名 ②事前予約 ③マスク着用④緊急連絡先の提出 でおこないますので、ご了承ください。個人の方（お一人からご予約できます）は予約日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



### 11月の注目天体情報

#### ☆テレビ観望システム

「3密」軽減と天体観察会の魅力アップのため、このたび新たに「テレビ観望システム」を導入しました。3密が予想される毎週土曜日の観察会は、103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。

#### ☆見ごろの星座

見ごろの星座は「うお座」です。明るい星が少ないので普段は見つけにくいのですが、今年はちょうど火星がうお座の辺りで輝いています。この機会に、うお座の場所を確かめておきましょう。

#### ☆アンドロメダ銀河

「アンドロメダ銀河」は、月明かりや街明かりのない条件では肉眼でも見られる銀河です。地球からの距離は230万光年で、私たちの銀河系の外側にある天体ですが、100年ほど前までは私たちの銀河系の内側にある天体だと考えられていました。11月中旬ごろは月明かりもなく好条件観察できます。望遠鏡での観察と合わせて、肉眼でもアンドロメダ銀河を観察してみましょう。

#### ☆準大接近した火星がまだまだ見ごろ

2020年10月6日に地球に最接近した火星。最接近後もしばらく見頃が続きますので、103cm大型望遠鏡で観察してみましょう。

観察会のイメージ



アンドロメダ銀河

